

TextReader クラスの API

TextWriter は、生成時にテキストファイルをすべて読み込んでいるので、ヒープメモリを消費します。テキストファイルは、総じてサイズが小さいのが普通ですから、実用上は問題ありませんが、巨大なテキストファイルを扱う時は、使わない方がいいでしょう。

なお、本文には書きませんが、size()、sort()、rewind()などの機能もあります。

TextReader クラス

コンストラクタ	機能
public TextReader(String filename)	ファイルを指定する
public TextReader(String filename, String charset)	入力文字コードを指定する
public TextReader(Path path)	Path でファイルを指定する
public TextReader(Path path, String charset)	入力文字コードを指定する

インスタンス メソッド	機能
public static void setDefaultCharset	デフォルトの入力文字コードを設定する
public static String getDefaultCharset	デフォルトの入力文字コードを取得する
public String readLine()	1 行分のテキストを読み出す。テキストの末尾に改行記号はない。ファイルの終端を超えて実行した時は null を返す
public String[] readCsv()	1 行分の CSV データを読み出して、String の配列にして返す
public List<String> readAllLines()	ファイルの全行をリストに入れて返す
public int size()	ファイルの全行数を返す
public void sort()	ファイルの行データを昇順に並べる
public void rewind()	読み出し位置を先頭に戻す
public void close()	ファイルを閉じる (入力バッファを開放する)

TextWriter クラスの API

TextWriter クラス

コンストラクタ	機能
public TextWriter(String filename)	ファイルを指定する
public TextWriter(String filename, char mode)	'a' =追記、'c' =上書を指定する
public TextWriter(String filename, String charset)	出力文字コードを指定する
public TextWriter(String filename, String charset, char mode)	モードと文字コードを指定する
public TextWriter(String filename, char mode, String charset)	

※文字コードは UTF-8 がデフォルトです。filename は Path オブジェクトでも指定できます。

インスタンス メソッド	機能
public static void setDefaultCharset	デフォルトの出力文字コードを設定する
public static String getDefaultCharset	デフォルトの出力文字コードを取得する
public void println(~)	データ*を行末に改行コードを付けて出力する
public void print(~)	データ*を行末に改行コードを付けずに出力する
public void printf(String fmt, ~)	書式文字列 fmt により編集して表示する
public void flush()	バッファをファイルに出力する
public void close()	バッファをファイルに出力し、バッファを開放する

※データとは、基本データ型、String 型、その他のオブジェクトの文字列表現を意味する